

卒業生によるボランティア活動グループ「わ」会報

情報ぎゃらりー

第44号

発行日 2008年10月28日
 編集 グループ「わ」広報部
 発行者 加藤 勇治
 発行元 NPO法人社会還元センター
 グループ「わ」
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-3830
 Eメール group-wa@wa-net.jp
<http://www.wa-net.jp/index.shtml>

グループ「わ」『子どもたちの学習支援活動』

平成20年度第1回『学習支援の集い』開催さる

子どもたちの学習支援委員会

グループ「わ」子どもたちの学習支援活動」登録者による平成20年度第1回「学習支援の集い」が8月8日午前10時からカレッジ第1~4学習室で、井上堅副委員長(福8)の司会で開かれた。



加藤理事長(美10)が「支援活動は平成17年7月にスタートし、すでに3ヶ年を経過し4年目に入っている。市内の各小学校、養護学校からの支援要請が評判に評判を呼び、毎年要請がふくれて今や市内61校から学習支援をひとつぜひ「わ」の方をお願いしたいという要請が来ている。学習支援活動登録者の皆様には、いろいろとご苦勞をおかけして、各学校で頑張っている訳です。

毎年定期的に「学習支援者の集い」を催して、学習支援に係わる情報交換をして、学習支援の活動がより効果的に進むように相互研鑽する場を持っております。

今日は、限られた時間ではありませんが、日頃活動されている現場の経験をそれぞれ発表して頂くなど相互研鑽を深めていただき、学習支援に対する我々の支援対応力を一層高めていきたいと願っております。実のある集いにして頂きますよう、

ご協力をお願い致します。」と開会の挨拶。

続いて来賓の小林事務局長から「グループ「わ」の皆さんには、平素から大変お世話になっておりまして、カレッジ、或いはしあわせの村の協会がいつも助けて頂いております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この学習支援活動は平成17年から始まって早いもので4年目ということで、学習支援の指導補助の内容も資料を見せて頂きますと、教科、実技、日本文化の伝承、特別支援と多岐にわたっておりますけれども、要請のなかで特別支援教育が一番多いようでございます。

ここまでこの活動を立ち上げて育ててこられました、関係者の皆さんに対しまして、本当に感謝いたしますと共に心から敬意を表するものでございます。特に支援者の方の思いやりの心、奉仕の心には本当に頭の下がる思いでございます。

これらの活動に対しましては、市教育委員会、或いは現場の先生、だれよりも子供たち或いは親御さんが、本当に感謝し、頼りにされていることと思っております。

今井学長は常々「誰もの幸せを願い、支える心が大事である。そして福祉の心は寄り添いの文化を広げていくことにある」とおっしゃっております。カレッジの精神を培われた皆さんがおっしゃっています「再び学んで他のために」をまさに実践して頂いているものと改めて御礼申し上げます。在校生の皆さん取り組まれている地域交流活動は、ちょうど17年度から本格的に始まったと思いますが、現在62グループのうち45グループは、見守り活動などの学校支援活動を57校で行っております。

今後グループ「わ」の学習支援活動と地域交流活動の学校支援がうまく連携しまして、支援活動がより広がることを願っております。

後継者については、両方ともいろいろ難しい問題があるかと思えますが頑張りたいと思えます。

事務局と致しましてもできる限りの支援をしてまいりたいと思っております。最後になりましたが、学習支援活動がいつまでも続き、大きく輪が広がるとともに、支援者の皆さんが、いつまでも元気で活躍されることを祈念いたしまして、ご挨拶といたします。」とお礼と激励のお言葉を頂いた。

集いに参加した支援者の自己紹介があり、4グループに分かれグループディスカッションに入った。

各グループの討論内容は次の通りです。(次ページに続く)



全体会議

2008.08.08.11.56